

世界が注目する日本映画たち

●15:30～
『ヒミズ』 カラー/129分



©ヒミズフィルムパートナーズ

監督・脚本:園子温
出演:染谷将太、二階堂ふみ、渡辺 哲、吹越 満、神楽坂 恵、光石 研、渡辺真起子

15歳の祐一は、震災で家を失くした大人たちとともに平凡な日々を過ごしていた。だが蒸発していた父親が現れて祐一に非情にあたり、母親は家を出してしまう。同級生の中を走りだす。染谷将太と二階堂ふみがヴェネチア国際映画祭で最優秀新人俳優賞をW受賞した、魂を揺さぶる青春映画。

景色と2人、大人にも世界にも絶望した15歳は、深い闇の中を走りだす。染谷将太と二階堂ふみがヴェネチア国際映画祭で最優秀新人俳優賞をW受賞した、魂を揺さぶる青春映画。

●18:30～ ★
『鍵泥棒のメソッド』 カラー/128分



©2012 鍵泥棒のメソッド製作委員会

監督・脚本:内田けんじ
出演:堺 雅人、香川照之、広末涼子、荒川良々、森口瑠子

弱気な貧乏役者と伝説の殺し屋の人生が入れ替わる奇想天外な設定に婚活中の美女が絡む、笑いとハラハラドキドキが満載の極上エンターテインメント作品。前2作『運命じゃない人』『アフタースクール』でも観客をあっと言わせる緻密な脚本と演出で楽しませてくれた内田監督。「王子と乞食」の現代版(?)のような本作で上海国際映画祭脚本賞、ハワイ国際映画祭作品賞に輝いた。

『運命じゃない人』『アフタースクール』でも観客をあっと言わせる緻密な脚本と演出で楽しませてくれた内田監督。「王子と乞食」の現代版(?)のような本作で上海国際映画祭脚本賞、ハワイ国際映画祭作品賞に輝いた。

『聴こえてる、ふりをしただけ』 カラー/99分



監督・脚本・編集:今泉かおり
出演:野中はな、郷田芽瑠、杉木隆幸、越中藍希、矢島康美、唐戸優香理

母親を亡くした11歳の少女サチ。死の受け止め方もわからない少女は、精神的に弱っていく父親にも頼れず、守ってくれる存在がない新たな世界に放り出された。大人の偽善や友だちの意地悪などを目撃しつつ、自身の弱さや歪みも直視して、彼女は成長していく。ベルリン国際映画祭ジェネレーションKプラス部門子ども審査員特別賞受賞。

●15:00～ ★

『かぞくのくに』 カラー/100分



監督・脚本:ヤン・ヨンヒ
出演:安藤サクラ、井浦 新、ヤン・イクチュン、京野ことみ、宮崎美子、津嘉山正種

25年ぶりに北朝鮮から帰郷した長男を迎える両親と妹。家族それぞれの、言いつくせない思いと、語ることでできない思いが、画面から溢れる。自らの家族を題材に傑作ドキュメンタリーを作ってきたヤン監督の初のフィクション作品。ベルリン国際映画祭国際アートシアター連盟賞受賞。2013年米国アカデミー賞外国語映画賞の日本代表に選出されている。

●18:30～ ★

『KOTOKO』 カラー/91分



©2011 SHINYA TSUKAMOTO/KALJUJYU THEATER

監督・脚本・撮影・編集・製作:塚本晋也
出演:Cocco、塚本晋也

幼い息子の身を案じるあまり、追いつめられていく琴子。その切迫した思いをぶつけられながらも、彼女のすべてを受け入れようとする男。原案・美術・音楽も担った映画初主演のCoccoの、演技を超越した全身全霊の姿と歌声に魂が揺さぶられる衝撃作。ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門グランプリ受賞。

『一枚のハガキ』 カラー/114分



©2011「一枚のハガキ」近代映画協会/渡辺商事/ブランドス

監督・脚本・原作:新藤兼人
出演:豊川悦司、大竹しのぶ、六平直政、柄本 明、倍賞美津子、大杉 漣、津川雅彦

第二次世界大戦末期、上官がクジで決めた戦地から生還した兵士は100人のうち6人だけだった。その1人であった新藤監督は、遺作となったこの作品で戦争のむごさと愚かしさを訴える。戦争ですべてを失いながらも生き抜いていく男と女の力強い姿が胸を打つ。東京国際映画祭審査員特別賞受賞。モスクワ国際映画祭コンペティション部門選出。

●13:30～ ★

『エンディングノート』 カラー/90分



©2011「エンディングノート」製作委員会

監督・撮影・編集:砂田麻美
出演:砂田知昭

段取り命の熱血会社員だった父は、退職直後にガンが発覚、家族のためにエンディングノートを作成する。最後の日まで前向きに生きる父にカメラを向け続けた娘は、幼い頃から撮り続けてきたホームビデオ映像もふんだんに挿入して、感動ドキュメンタリーを作り上げた。ドバイ国際映画祭ムハ・アジアアフリカ・ドキュメンタリー部門第2位。

●16:30～ ★

『サウダーヂ』 カラー/167分



©KUZOKUJAI All right reserved

監督:富田克也 / 脚本:富田克也、相澤虎之助
出演:鷹野 毅、田我流、川瀬陽太、ディーチャイ・パウイーナ、伊藤 仁

前作『国道20号線』でも地元・甲府を舞台にした富田監督が、再び、不況の波をもるに受ける甲府で撮影。土木作業員、外国人労働者、ラッパーなど、実際に甲府で暮らす人々もキャストイングして、格差、差別、焦燥感など、今の日本が抱える現実をスクリーンに叩きつけた力作。ナント三大陸映画祭グランプリ受賞。

世界が注目する日本映画たち

会場:所沢市民文化センター ミューズ マーキーホール

2013年 3月22日(金) 23日(土) 24日(日)

★・・・ゲスト来場予定

22日(金)

監督・脚本:園子温

『ヒミズ』

監督・脚本:内田けんじ

『鍵泥棒のメソッド』★

23日(土)

監督・脚本・編集:今泉かおり

『聴こえてる、ふりをしただけ』★

監督・脚本:ヤン・ヨンヒ

『かぞくのくに』★

監督・脚本・撮影・編集・製作:塚本晋也

『KOTOKO』★

24日(日)

監督・脚本・原作:新藤兼人

『一枚のハガキ』

監督・撮影・編集:砂田麻美

『エンディングノート』★

監督・脚本:富田克也

『サウダーヂ』★

監督、俳優など各回のゲストは確定次第ミューズHPで発表します。

<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

※やむを得ない事情により、ゲスト、プログラム等変更になる場合がございます。ご了承ください。

チケット発売日:2012年12月23日(日)

【料金】全席指定

- 1回券(日時指定):[Pコード:550-527] 800円
- 1日券(日にち指定・限定160席・前売りのみ):
22日(金)1,300円 / 23日(土)・24日(日)2,000円
[Pコード:550-528]

【お求め先】

ミューズチケットカウンター 04-2998-7777 (10:00-18:00)

チケットぴあ 0570-02-9999

ローンチケット 0570-000-407 (10:00-20:00)

【会場】

所沢市民文化センター ミューズ

〒359-0042 所沢市並木1-9-1

- 全日、ゲスト来場者のトーク後に、ロビーでのサイン会を予定しています。
- やむを得ない事情により、ゲスト・プログラム等変更になる場合がございます。ご了承ください。
- 上映開始後は場内が暗いため、お手持ちのチケットの座席にご案内できなくなりますので、上映開始時刻に遅れないようご注意ください。



- ※ 区域「前方」「中央」「後方」「バルコニー」「2階席」のいずれかを選んでご購入いただけます。
- ※ 1日券は「中央」「後方」のみとなります。
- ※ ミューズチケットカウンターでご購入の場合、直接座席を指定することができます。
- ※ 開場は各上映開始時刻の15分前からとなります。
- ※ 上映後は映写機チェックのため、いったんロビーにご退場いただきます。
- ※ 前売りで完売した場合、当日券の販売はございません。
- ※ 前売券は開催前日まで販売しております。
- ※ 尚、チケットぴあでの前売券予約は開催4日前までとなります。
- ※ 未就学児の入場はご遠慮いただいております。

西武新宿線・航空公園駅東口より
徒歩約10分・バス約3分

- 西武新宿駅より約40分
- 西武池袋駅より約30分(所沢駅乗り換え)
- 国分寺駅より約20分(東村山駅乗り換え)
- 本川越駅より約20分

【注意事項】駐車場は大変混雑いたしますので、電車・バスのご利用をお勧めします。

【主催・お問い合わせ先】
財団法人 所沢市民文化振興事業団
04-2998-6500
〒359-0042 所沢市並木1-9-1
<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

【協力】有限会社アップリンク、カプリコンフィルム
ギャガ株式会社、空族、株式会社クックワークス
株式会社スターサンズ、東京テアトル株式会社
ビターズ・エンド、有限会社マコトヤ

【企画制作】ぴあ株式会社

